

個別の支援計画

作成日： 年 月 日 記入者：

評 本人の希望は担任や保護者が聞き取ったり、本人の思いを想像したりして書きます。聞き取りが難しい場合は保護者の願いだけでも構いません

歳 カ月

年 組 (学級)

氏名 本人や保護者の希望や願いを踏まえた支援に関する意見を書きます。

本人・保護者の希望や願い	支援者（関係機関）の意見
・友達をたくさん作りたい。（本人） ・困ったときに相談できる場所がほしい。（保護者） ・余暇を楽しむため趣味を見つけて欲しい。（保護者）	・人と関わりながら成功体験を積み重ね自信をつける。 ・本人が取り組みやすい環境を整える。

長期目標：1年後を見通した目標（～R8年4月）	短期目標：6ヵ月内の達成目標（～R7年10月）
・わからないときや困ったときに人に助けを求められるようになる。 目指す子ども像を書きます。	・集団の中でも指示や説明を聞けるようになる。 ・忘れ物をなくす。 目指す子ども像に迫るために、当面取り組むことを書きます。

本人への働きかけ	支援の手立て（合理的配慮）	環境調整の工夫
1 「誰が何をどうした表」を活用し、指示や簡単な説明を理解するようにする。（担任） 2 忘れ物をしたときは、授業が始まる前に先生に伝えるよう促す。（授業担当者） 3 登校時に一日の流れと持ち物を確認する。（担任）	4 次の日の準備をする時間を決め、学級通信の時間割を見ながら準備をする。（母） 5 指示や説明の際は、できるだけ視覚情報を活用する。（授業担当者） 6 気の合う友だちが班に入るように配慮する。（担任）	
ナンバーリングをしましょう 本人へ働きかける際の手立てを書きます。	担当者名	本人が取り組みやすいように、周りが整える条件について書きます。

手立てにはナンバーリング（通番）し、それぞれの手立てに（ ）を附し担当者を記します。

成果	評価	課題
それぞれの手立ての「更新」「継続」「変更」「中止」を明確にした上で、次の計画に生かせるよう、その根拠となり得る評価を記載し、それぞれの手立てを次の計画でどう扱うかをナンバーで分類します。		
⇒「中止」する手立て： なし	⇒「継続」する手立て： 4	
⇒「更新」する手立て： 3	⇒「変更」する手立て： 5	
⇒「継続」する手立て： 1・2	⇒「中止」する手立て： 6	